

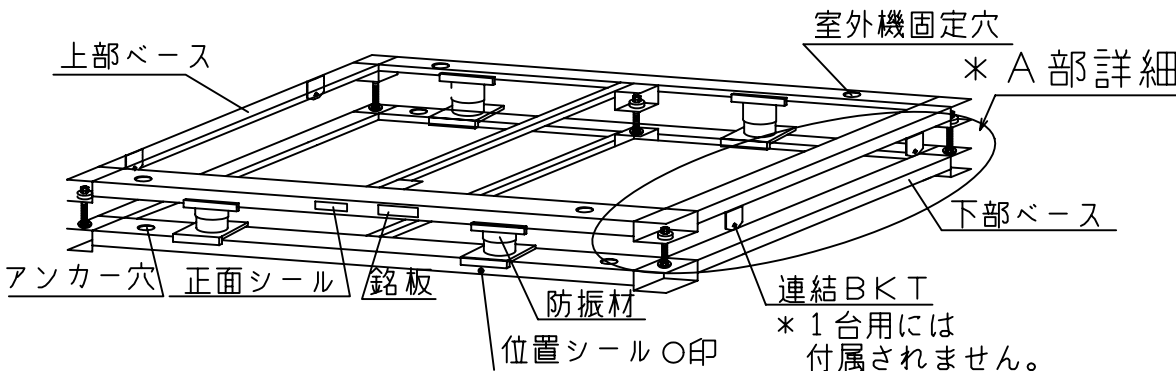
防振架台取付要領書

INSTRUCTION MANUAL

適用機種:TCB-SK2801NA / TCB-SK4501NA

TCB-SK5601NA / TCB-SK7301NA / TCB-SK7301NA-L / TCB-SK9001NA

弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では、この製品を安心して御使用いただけます様細心の注意をはらって製作しておりますが、取扱いを誤りますと思わぬ事故を引き起こす原因となりますので、取付要領書に従い、正しく御使用くださいます様、お願いいたします。

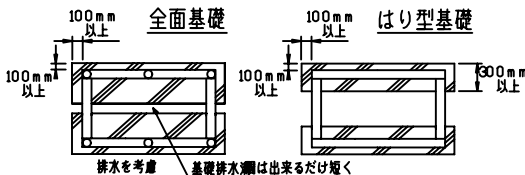


■ 付属部品 ■

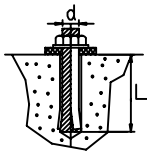
用途	部品名	SK2801NA	SK4501NA	SK5601NA	SK7301NA	SK7301NA-L	SK9001NA
機器固定用	ボルト (M12×70L)	4	4	8	8	8	8
	ナット (M12)	8	8	16	16	16	16
	角座金	8	8	16	16	16	16
	平座金	8	8	16	16	16	16
架台連結用	ボルト (M10×30L)	—	—	2	2	2	2
	ナット (M10)	—	—	2	2	2	2
	平座金	—	—	4	4	4	4
据付用	取付説明書 (本紙)	1	1	1	1	1	1

■ 基礎について ■

- ・基礎は全面基礎で防振装置の下ベースを隙間なく支持して下さい。基礎の上面は水平を出し、下ベースと密接するように、平滑に仕上げて下さい。また下部基礎の内側の排水を考慮して下さい。また下部基礎の内側の排水を考慮して下さい。
- ・はり形基礎で支持される場合には、不連続部をできるだけ短く施工して下さい。
- ・基礎には必ず配筋を行い、アンカーボルトは耐震基準に応じて埋設して下さい。
- ・機器の周囲は、サービス・スペースを500mm以上とるようにして下さい。(サービス・スペースがとれない場合は架台設置の前に一度機器本体を載せて水平調整をしておいて下さい。)



注：基礎ボルトは付属しておりません。お客様にて下記推奨品相当のボルトをご用意下さい。又、後打ち作業の場合には下記アンカーボルトをご使用下さい。(基礎ボルト推奨品：JIS-B-1178、L型)



●短期許容引抜荷重 (kN)					
ボルト径 d(呼称)	コンクリート厚さ (mm)				埋込長さ (mm)
	120	150	180	200	
M12	6.7	6.7	6.7	6.7	60
M16	9.2	9.2	9.2	9.2	70
M20	12.0	12.0	12.0	12.0	90
ボルト径dの埋込長さL	100以下	120以下	160以下	180以下	

※コンクリート基礎強度1.8kN/cm²とします。

引用：建築設備耐震設計・施工指針2005年版

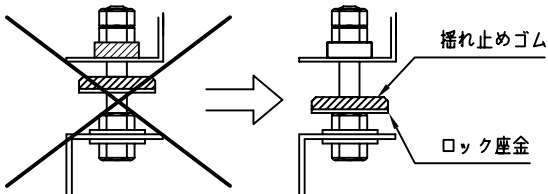
< 据付前に必ずご確認ください >

- 銘板の型式名はご注文の商品と合っていますか。
- 付属品は揃っていますか。
- 防振材の位置がずれていませんか。
- 防振材の位置は本体に○印が貼ってあります。(ポリ袋入りで本体にテープ留めしてあります。)

< 取付手順 >

- 1.基礎及び、据付面の水平を確認してください。
- 2.据付方向に注意して配置してください。
(正面シール・銘板シール ラベル表示してあります。)
※方向を間違えて設置すると、ユニットに傾きが発生します。
- 3.下部ベース上にて防振架台の水平を確認してください。
(基礎に傾きがある場合はライナー調整等で水平に設置してください。)
- 4.防振架台を基礎ボルトにて固定してください。
(基礎ボルトは付属しておりませんので、左記「基礎について」を参照して先様にて御手配ください。)
- 5.耐震ストッパーボルト(四隅)の揺れ止めゴムが下がっていることを確認してください。
※揺れ止めゴムが上がっていると防振架台の傾きや、防振性能低下の原因となりますので必ずユニット搭載前に行なってください。

揺れ止めゴムはロック座金を回して
上下させてください。



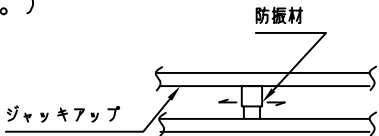
- 6.室外機本体を防振架台に載せ、付属の機器固定ボルトで固定してください。
(室外機の据付に関しては室外機の取扱説明書に従ってください。)

※ 機器据付時の注意 ※

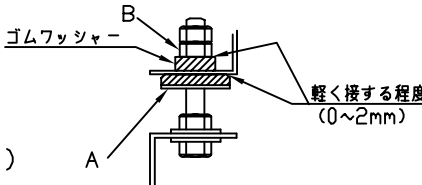
ストッパーボルト(4箇所)が垂直か確認してください。

上部ベースの四隅で高さ寸法を計測して水平を確認してください。

メーカー資料の重心に合わせて防振材を配置しておりますが製品個体差、配管、配線、オプション品等で防振架台が多少傾く場合があります。傾いた場合はジャッキアップし、防振材を傾いた方向へ移動して水平レベルを調整してください。(四隅の高さの差を5~6mm以内にしてください。)



- 7.機器設置後、耐震ストッパーボルトの調整をしてください。
A：ロック座金を回して揺れ止めゴムを上部コーナブラケットに軽く接する程度(0~2mm)に上げてください。
B：ダブルナットを一度緩めゴムワッシャー軽く接する程度(0~2mm)にしてダブルナットを固定してください。



(締め込み過ぎない様、注意してください。)

■ 架台同士を連結する場合

防振架台同士を連結する時は、それぞれの架台側面に付いている連結ブラケットを付属の架台連結ボルト(M10)にて締付け、連結とします。

